

| | | |
|-----|------|------------------|
| 科目名 | 美術 I | 普通科必修 1年次・2単位 |
|-----|------|------------------|

| | | |
|----|---|--|
| 目標 | 感性を高め、創造活動を通して美術を愛好する心情を育てる。 造形的要素を理解すると共に習得し、主体的に創造的な表現をすることを目標とする。 | |
|----|---|--|

| | | |
|------|--|--|
| 位置づけ | デッサン習作、デザイン概論と制作、絵画表現、作品鑑賞などを通じた内容とする。 | |
|------|--|--|

- 使用する教材
- ・教科書
 - ・合評プリント ほか

- 学習する単元とおおよその時期
- ・デッサン習作【4～6月】
 - ・デザイン制作【7～8月】
 - ・絵画制作【9～12月】
 - ・作品鑑賞【通年】

- 授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法
- ・表現の分野では、デッサン習作を中心に実技演習に取り組むことで自己表現に努める。
 - ・鑑賞の分野では、制作を振り返り多様な作品の背景や良さを感じ取り、自己表現に生かす。
 - ・各分野ごとに合評の時間を設け、自評文をまとめ他者作品を鑑賞し、完成度や習熟度を把握する。

■観点別評価について

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|---|--|--|
| 評価基準 | A 各制作分野において表現方法を知り理解している。 画材の特徴を理解して表現の工夫ができる。 | 造形的要素を探究し、主題について自ら考え、アイデアを練り、創造的に表現できる | 美術の創造活動の喜びを深く味わい、表現技法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現の創造活動や鑑賞に取り組んでいる |
| | B 各制作分野において表現方法を知ろうと心掛けている。 画材の特徴を理解して表現しようとしている。 | 表現方法を工夫し、主題について自ら考え表現できる。 | 美術の創造活動の喜びを味わい、表現技法や美術文化に関心を持ち、創造活動や鑑賞に取り組んでいる |
| | C 上記が達成できていない | 上記が達成できていない | 上記が達成できていない |
| 評価の場面 | 演習課題の完成度 合評プリントの提出内容 | アイデアスケッチや合評プリントの提出内容 授業中の制作内容や鑑賞内容 | 制作や鑑賞への取組みの姿勢 作品や合評プリントの提出状況 |